

令和2年度 シラバス

愛媛県立津島高等学校

教科	商業	科目	簿記	単位数	3	学年	3年	類型	ビジネスコース
教科書	簿記 新訂版 (東京法令出版)			副教材	完全段階式 標準検定簿記問題集2級 (東京法令出版)				

学期	月	単元名	指導項目、内容	評価の観点				学習のねらい・学習の目標・評価の観点	
				①	②	③	④		
1 学期	4	第Ⅳ編 決算(2)	第1章 決算整理(その2) 1 減価償却費の間接法による記帳 2 減価償却費の定率法による計算			○	◎	株式会社のビジネス活動において発生する取引を合理的、能率的に記帳する知識と技術を身に付ける。 取引内容の記帳において、仕訳から勘定の記入を経て決算に至るまでの簿記の基本的なしくみについて理解を深める。 株式会社の作成した諸帳簿や伝票、更には貸借対照表、損益計算書などからビジネスの諸活動を計数的に把握することのできる能力と態度を育てる。 株式会社の会計及び財務諸表の作成に関する知識と技術を習得する。	
	5			3 有価証券の評価		○		◎	
				4 費用・収益の繰り延べ 5 費用・収益の見越し			○	◎	
				6 精算表の作成	○		◎		
	6	第Ⅴ編 特殊な取引の記帳	第1章 特殊な商品売上の記帳	1 未着商品売 2 委託販売				◎	
				3 割賦販売 4 試用販売	○			◎	
7			第2章 特殊な手形取引の記帳 1 手形の書き換え 2 不渡手形			○	◎	学習の目標 株式会社の会計及び財務諸表の作成に関する知識と技術を習得し、簿記会計のしくみについて理解させると共に、ビジネスの諸活動を計数的に把握する能力と態度を育てる。	
				期末考査	○	○	○		◎
				3 荷為替手形			○		◎
2 学期	8								
	9	第Ⅵ編 会計帳簿(2)	第1章 特殊仕訳帳	1 帳簿組織の立案と記帳の合理化 2 単一仕訳帳制度	○	◎	○		評価の観点 ① 株式会社における簿記会計に関心を持ち、その知識と技術の習得をめざして意欲的に取り組んでいるか。
				3 複合仕訳帳制度 4 現金出納帳 5 当座預金出納帳			◎	○	
				6 仕入帳 7 売上帳		◎	○		
	10	第Ⅷ編 本支店会計	第2章 5伝票制による記帳	1 5伝票制 2 伝票の集計・整理	○	○	○	◎	② 簿記会計における様々な処理方法や記帳方法について、自ら思考を深め、知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けているか。
				3 仕入帳 4 売上帳				◎	
				5 普通仕訳帳		◎	○		
	11		第2章 5伝票制による記帳	1 5伝票制 2 伝票の集計・整理	○	○	○	◎	③ 株式会社における簿記会計に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、ビジネスの諸活動を把握し、的確に処理するとともに、その成果を適切に表現できるか。
				3 合併貸借対照表の作成 4 合併損益計算書			○	◎	
12	第Ⅸ編 株式会社会計(発展学習)	第1章 株式会社の設立・開業と株式の発行	1 株式会社のしくみ 2 株式会社の設立	○	○	○	◎	④ 株式会社における簿記会計について基礎的・基本的な知識を身に付け、簿記のしくみについて理解しているか。	
			3 資本金の増加						
			2 当期純損益の計上と剰余金の配当・処分			◎	○		
3 学期	1	第4章 株式会社の税務	1 株式会社の税金		◎		○		
			2 演習問題		○	◎			
			学年末考査	○	○	○	◎		
2		家庭学習						備考	
			〃						
			〃						
3		〃							
			〃						

※評価の観点 ①: 関心・意欲・態度 ②: 思考・判断・表現 ③: 技能 ④: 知識・理解

◆学習方法のポイント

【科目の特色】

- 株式会社における取引を合理的、能率的に記帳する知識と技術を習得するために、取引を分解し、取引要素の結合関係をしっかり身に付けることが大切です。
- ノートは、板書をそのまま写すのではなく、自分で考えたことや感じたこと、さらに興味を持ったことをメモしたり、整理すると、復習や課題学習の時に役立ち、学習に広がりが見られます。
- 授業で取り上げる様々な課題について、教科書に書かれている文章を単に読むだけでなく例題や記帳練習を通して理解を深め、授業の内容を知識として定着させる努力を怠らないことが大切です。

【授業】

- 簿記の授業は週に3時間あります。最初の総論はゆっくりとした進度ですが、各論に入ると授業のスピードが一気に速くなります。授業は休まないよう体調管理を気を付けてください。
- 特に商業の授業では、服装・髪型・挨拶・態度など、職業人としての意識を持って授業に臨んでほしい。
- 授業では、教科書や問題集の他にノート(A版)・定規・赤ボールペン・電卓・糊等を準備しておいてください。
- 欠席した場合は、その日のノートを級友から借りて写させてもらうなど、学習の遅れを取り戻しましょう。
- 授業でわからないところがあったときは、放置せずその日のうちに解決しましょう。
- 補習(SUT)を実施します。現在、週1時間及び冬季休業中に実施することを検討しています。

【家庭学習】

- 授業時間内に理解します。後で確認しようなどとは思わず、その時間内で理解し、必要なことは覚えましょう。
- 簿記の家庭学習は、復習を基本とします。授業で学習した内容は、その日のうちに復習してください。学習内容の定着率が格段に向上し、理解がスムーズになります。
- 当たり前のことですが、問題集やプリントなどの課題は必ず提出してください。

【定期考査】

- 中間・期末考査を実施する。

◆評価の方法、基準

評価の方法	定期考査、授業への出席状況及び学習意欲、課題提出とその内容、ノートの整理状況を ①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現 ③技能 ④知識・理解の四つの観点から評価します。ただし、定期考査を重視します。	
評価の基準	1 学期	確認テスト、期末考査(全ての観点から評価しますが主に④を重視します。) 出席状況及び学習意欲(主に①の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況等(主に②の観点から評価します。)
	2 学期	中間考査、期末考査(全ての観点から評価しますが主に④を重視します。) 出席状況及び学習意欲(主に①の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況等(主に②の観点から評価します。)
	3 学期	学年末考査(全ての観点から評価しますが主に④を重視します。) 出席状況及び学習意欲(主に①の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に③の観点から評価します。) 課題提出状況等(主に②の観点から評価します。)
	学 年	1学期の成績、2学期の成績、3学期の成績の平均、並びに検定試験の結果を加味します。